## 試験研究成果普及情報

部門 野菜 対象 普及

課題名:九十九里砂質土地帯におけるスイートコーン新品種の特性と栽培法

[要約]九十九里砂質土地帯における中早生系スイートコーンの品種は、2L規格収量が多く、食味の良い「ゴールドラッシュ」が適する。適正施肥窒素量は基肥と追肥を合わせて30kg/10aであるが、基肥は有機質肥料で代替できる。播種適期は、6月中旬から収穫可能となる3月12日頃であり、株間を27cmにすることで増収する。

フリーキーワード スイートコーン、新品種、中早生種、特性、栽培法

実施機関名 主 査 農業総合研究センター・北総園芸研究所・砂地野菜研究室

協力機関 海匝農林振興センター、山武農林振興センター

実施期間 2004年度~2007年度

## [目的及び背景]

九十九里砂質土地帯はスイートコーンの栽培が多く、近年では食味の良い「味来 390」が主力品種として栽培されてきた。しかし、この品種は中生種であり、産地からは収穫期間の前進化を図るために、中早生種で食味が良く、かつ栽培がし易い品種の導入が望まれている。そこで、近年育成された新品種の中から、当地域に適した品種を選定するとともに、その品種の栽培法を確立する。

## [成果内容]

- 1 3月中旬播きトンネルマルチ栽培における中早生系スイートコーン品種は、2L規格の収量性、先端不稔の少なさ及び食味を総合して「ゴールドラッシュ」が最も有望であり、次いで「きみか」である(表1、表2)。
- 2 「ゴールドラッシュ」の3月中旬播きトンネルマルチ栽培において、施肥窒素量を基肥と追肥を合わせて30kg/10aとする場合、基肥は有機質肥料で代替できる(有機 区)。また、コーティング肥料を用いて追肥を省略した43%減肥栽培の減肥 区では、土壌中硝酸態窒素残存量は半減するものの、約7%減収する(表3)。
- 3 九十九里砂質土地帯における中早生品種「ゴールドラッシュ」の播種適期は、6月中旬からの収穫が可能で、かつ2L規格収量が多い3月12日頃であり(表4、図1)、株間は慣行の30cmより狭い27cmにすることで増収する(図2)。

## [留意事項]

上記は、九十九里砂質露地畑(匝瑳市)の試験で得られた結果である。

[普及対象地域] 九十九里砂質土地帯

[行政上の措置]

#### [ 普及状況]

九十九里砂質土地帯では、「ゴールドラッシュ」が50%以上栽培されている。

## 「成果の概要]

表1 品種別収穫物の特性 (平成18年度)

		出荷規	格別収量(	(kg/10a)		_先端不稔	食味	収穫期	総合
	3 L	2 L	L	М	合計	長(cm)	(指数)	(月.日)	評価
FSW-153-Y (フジイシード)	0	1,520	330	0	1,850	1.8	2.7	6.21	
恵味早生(清水種苗)	0	1,700	170	0	1,870	1.3	3.3	6.21	
IN-ZM505 (渡辺農事)	0	1,490	290	60	1,840	1.3	3.1	6.21	
ゴールドラッシュ(サカタのタネ)	0	1,660	210	0	1,870	0.8	3.4	6.21	
きみか (フジイシード)	0	1,110	610	70	1,790	0.4	3.6	6.21	
味来早生130(パイオニアエコサイエンス)	0	1,170	480	30	1,690	2.4	3.3	6.21	
味来390(パイオニアエコサイエンス)	0	1,130	450	30	1,610	1.9	2.6	6.23	
サニーショコラ(みかど協和)	0	1,510	40	70	1,620	1.5	3.4	6.21	
恵味ゴールド(清水種苗)	0	1,910	80	0	1,990	1.5	2.8	6.22	

- 注1)播種 平成18年3月6日
  - 2) 先端不稔長 先端不稔発生雌穂における平均値
  - 3 ) 食味指数 5 : 良、4 : やや良、3 : 普通、2 : やや不良、1 : 不良の5段階 (パネラー10名による総合評価) 4 ) 総合評価 : 有望、 : 再検討必要、 : やや問題あり

表 2 品種別収穫物の特性 (平成19年度)

品種名	, 出荷規格別収量(kg/10a)					先端不稔	食味	収穫期	総合
	3 L	2 L	L	M	合計	穂率(%)	(指数)	(月.日)	<u>評価</u>
IN-ZM701 (渡辺農事)	0	1,680	230	40	1,950	75.0	2.7	6.21	
きろろEX(住化農業資材)	0	240	1,190	200	1,630	12.5	3.3	6.21	
IN-ZM500 (渡辺農事)	0	1,290	500	30	1,820	15.0	3.1	6.21	
YTY6310 (住化農業資材)	60	1,090	670	0	1,820	10.0	3.4	6.21	
KSY-588(みかど協和)	0	1,420	500	0	1,920	67.5	3.6	6.21	
ゴールドラッシュ ( サカタのタネ )	0	1,880	90	0	1,970	5.0	3.3	6.21	
恵味キュート(清水種苗)	0	1,190	570	0	1,760	27.5	2.6	6.23	
きみか ( フジイシード )	0	1,750	170	0	1,920	0.0	3.4	6.21	
恵味ゴールド(清水種苗)	870	1,300	40	0	2,210	32.5	2.8	6.22	

- 注1)播種 平成19年3月12日
  - 2) 先端不稔穂率 先端不稔長 2 cm以上の発生率
  - 3)食味指数、総合評価の基準は表1に同じ

表3 「ゴールドラッシュ」の施肥法別収量、品質及び栽培後の土壌中硝酸態窒素量

試験区	施肥	成分	}量(kg/10a	a )	収量	雌穂重	先端不稔	土壌中硝酸態
		N	$P_{2}O_{5}$	$K_20$	(kg/10a)	(g)	雌穂率(%)	窒素(mg/100g)
	基肥	23	30	23				
慣行	追肥	7	0	7	2,111	429	17	14.2
	合計	30(30)	30	30				
	基肥	23	30	30				
減肥	追肥	0	0	0	1,950	411	13	8.2
	合計	23(23)	30	30				
	基肥	17	30	30				
減肥	追肥	0	0	0	1,957	398	22	6.4
	合計	17(17)	30	30				
有機	基肥	23	30	23				
	追肥	7	0	7	2,240	426	17	11.4
	合計	30(17)	30	30				
有機	基肥	30	30	30				
	追肥	0	0	0	1,982	419	17	13.5
	合計	30(17)	30	30				
有機	基肥	30	30	30				
	追肥	0	0	0	1,904	411	29	19.3
	合計	30(17)	30	30				
	基肥	0	30	30				
無窒素	追肥	0	0	0	536	207	90	2.5
	合計	0	30	30				

- 注1) 播種:平成19年3月12日.収穫:平成19年6月19~25日.採土:平成19年7月9日(深さ15cm)
  - 2)()内数字は化学肥料由来の窒素成分量を示す
  - 3) 基肥 慣行区: CDU化成、減肥 、 区: SC化成、有機 、 区: 有機アグレット + 菜種油粕、 有機 区:マイルドコート200号
    - 追肥 慣行区及び有機 区ともNKC6化成
  - 4) 先端不稔は長さ2cm以上の発生率を示す

表4 「ゴールドラッシュ」の播種日別収穫物の特性(平成19年度)

試験区	雌穂重	出	苛規格別本	糖度	平均		
_(播種日)	(g/穂)	2 L	L	М	先端不稔	(BriX%)	収穫日
3月2日	406	53.3	18.3	5.0	23.3	13.8	6月17日
3月12日	416	75.0	13.3	0.0	11.7	15.1	6月19日
3月22日	434	83.3	8.3	3.3	5.0	15.5	6月25日

注) 2 L 380g、L 300g、M 250g、先端不稔 2 cm

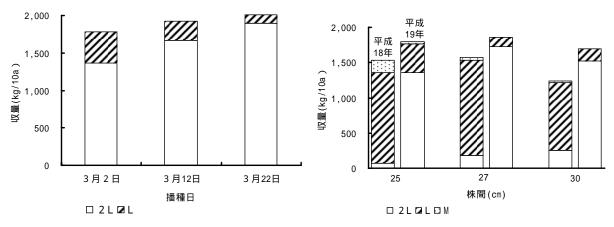


図 1 「ゴールドラッシュ」の播種日別収量 (平成19年度)

図2 「ゴールドラッシュ」の株間別収量

## [発表及び関連文献]

平成 20 年度試験研究成果発表会(野菜部門)

# [ その他]